



OpenTalks!



2019 Feb

2月と言えばバレンタインデー

男性はなんだか浮足立ち、女性は頭を悩ませるそんな季節がやってきます。

日本では女性が特別な人に親愛の情を込めてチョコレートをプレゼントする日として定着していますが、おそらくその数倍～数十倍という数の義理チョコが飛び交う日となっています。

もちろん義理チョコだって『普段お世話になっている方々に…』とか『一緒に働く仲間に感謝の気持ちを…』といった人間関係を円滑にする素敵な文化だと思います。

でもね・・・

男達よ・・・
義理チョコは
諦めてくれ！



社内義理チョコを買うお金を社会貢献活動に使ってみませんか？
オーティーエスは日本補助犬協会の活動に賛同し、
【補助犬育成のための募金】に協力しています。

▲募金箱前や社内の各所に掲示されるポスター

義理チョコ文化も悪くないけど せつかくだから社会貢献しちやおう!

オーティーエスでは社会貢献活動の一環として補助犬（盲導犬 / 介助犬 / 聴導犬）の育成活動を募金を通じて支援しています。（詳細は OpenTalks!2018 年 3 月号）

巷では「平成最後のバレンタイン…」と賑わっておりますが、一方で「社内義理チョコ」を見直し、社会貢献活動としてチョコを購入する費用を様々な寄付活動を行おうとする企業が増えてきています。（なんとチョコレートメーカー様まで！（`・ω・´）がラジィ）

社内コミュニケーションの大切なツールとなっている「社内義理チョコ」ですが、オーティーエスではこれを補助犬育成の支援に回そうという活動を行っています。

全社員への広報はもちろん、啓蒙ポスター（右）を作成し、800名を超える従業員に社会貢献への参加を促しています。

もちろん任意な活動ではありますが、女性にとっても、毎年お返しに頭を悩ます男性にとっても、これまでとは違った形でバレンタインデーを迎えるというのも素敵だと思いませんか。

3月14日の男性陣による「社内義理チョコ返し」の分もあわせれば、会社としてちょっとした社会貢献活動ができてしまうんです！

オーティーエスではこれからも様々に趣向を凝らして本業以外でも社会に貢献できるよう頑張っていきます！！

（本部広報 金光）

カイゼン委員会

オーティーエスの『新』委員会紹介

カイゼン委員会は昨年の4月に新たに新設されました。これまでの5S委員会とCS（お客様満足）委員会を統合し、物流の実務に即したカイゼン活動を行えるよう設置された委員会になります。オーティーエスがいま最も力を注いでいるカイゼン活動の主軸となる組織ですが、今回は初代委員長となったマーケティング部の阿藤さんにお話を聞いてみました☆

活動内容は、『カイゼン』と幅広い内容ですが、今期は次の3つのテーマを主体に活動していきます。

■3つのテーマ『①人時生産性管理の導入』、『②2S（整理・整頓）活動の強化』、『③ミス・クレームの撲滅』■

特に『①人時生産性管理』については、『その作業が、1時間当たりどれくらいの単位を処理できるのか？』といった管理手法を導入し強化します。

OTSがお客様より頂戴する費用のほとんどは、人件費が原価です。その生産性をしっかり捉えることで、お客様にとっても適正な単価、金額を、より明確にご提案・ご提供できるようになることを目指していきます。

『②2S（整理・整頓）活動の強化』は、今までの5S活動から2つの『S』、つまりは、整理・整頓を重点的に強化し、活動の促進を図ります。ひとつの目標基準としては、『出来栄え基準』、いわゆる、モデルケースを形成し、全社の現場環境へ展開を図ることを目標にしています。

『③ミス・クレームの撲滅』は、現在OTSで管理しているツールを再構築し、本当の根本原因（真因）の追求を強化し、より具体的な業務品質の向上と、お客様へのご提案促進につなげていきます。社内報告がしっかり実行され、管理者を明確に設定し、代表の田中を参画した会議での議論を展開するサイクルを運営していきます。

「全てはお客様のために」

品質の向上・効率のアップ・安全性の強化等々、カイゼン活動の効果は私たちの物流現場に良い影響をもたらしますが、最終的にはお客様に『より高品質なサービス』を提供することが目的になります。生まれたばかりの委員会でもまだまだ非力ではありますが、今後のカイゼン委員会にご期待ください。

（インタビュアー：堀江広報 久崎）



◆阿藤 貴彦
マーケティング部所属 営業担当
大学卒業後、新卒にてOTS入社
物流現場の経験もある営業として、常に「お客様にとって何がベストか」を探求している。